

【種別】

道具

【初出】

I巻

【解説】

様々な不思議な力を持つ器物。これを内封したトーチを“ミステス”と呼ぶ。

人間と“紅世の徒”が共に望む時に生まれ、両界における狭間の物体とされる。主に“存在の力”を繰る人間によって作りだされるが、たまに“紅世の徒”がその過程で助力する例も見られる。

武器などは利害が一致して共闘する人間と“徒”の間に生まれやすい。

当人たちの望みを具現する器物であるため、望みが個人的で特殊な物ほど、当人たちが吹聴しない限り、その能力は一般に知られにくい。

一度完成してしまえば、“徒”だけで宝具に手を加え、改造することも出来るようである（例：教授）。

宝具が『この世に開いた“紅世”の穴』であるトーチ（“ミステス”）に内封された状態で、そのトーチ（“ミステス”）が燃え尽きる、または破壊されると、穴を埋めるように他の『この世に開いた“紅世”の穴』であるトーチに転移する。

この作用はランダムかつ軌跡が掴めないのも、無作為転移とも呼ぶ。

亜種として、教授が自身の能力で作りに出す「宝具であって宝具でない」我学の結晶も存在する。

I：贗殿遮那 / レギュラーシャープ / 長衣 / 玻璃壇 / アズール / バブルルート / ダンスパーティー / トリガーハッピー / 零時迷子

III：吸血鬼 / オルゴール

IV：星黎殿

V：天道宮 / カイナ / 非常手段

VI：ジェットウーラ

VII：メケスト

VIII：神鉄如意 / ゲーヒンノム / トライゴン

X：タルタロス / キングブリトン / 小夜啼鳥 / 九垓天秤

XIII：ヒラルダ / ヒュストリクス

XIV：タルンカップ

XV：ノーマンクラタ

0：アタランテ / 押し出しトンカチ

S：テッセラ

SII：スクレープ (?) / コルデー

紅蓮：リシャッフル

ボールルーム：トリヴィア

ゲーム：パパゲーナ

討滅の獄（二次創作）：討滅の獄

【コメント】

アニメ版から登場・使用されている。

最古の討ち手カムシンとベヘモットでさえ、全ての宝具の能力を知るわけではない。宝具をコレクションするには、フリアグネの能力か、教授やラミー並みの分析力が必要。

『無何有鏡』が創造されても、宝具作成には人間の協力が必要なのかな。